

特別講演

地区特別企画

「持続可能な安全・安心・安定輸送の遂行に向けた
名古屋鉄道の取り組み」

11 : 15～12 : 15 第1会場（ホール）

加藤 貴志

（名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部 管理部長）

司会：岩崎 卓識（修文大学）

持続可能な安全・安心・安定輸送の遂行に向けた名古屋鉄道の取り組み

加藤 貴志

名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部 管理部長

名鉄グループは東海地方を中心に生活に根差したさまざまな事業を展開しています。そのグループの中核をなす名古屋鉄道は、名古屋を中心に愛知・岐阜の両県にまたがる 444.2km の鉄道路線を運営し、地域の日常を支える公共交通機関として一日約 100 万人のお客さまにご利用いただいています。

鉄道事業の最大の使命は「安全・安心・安定」の輸送サービスを提供することであり、その中でも私たちは安全最優先の意識を常に持ち業務に邁進しています。この点において、臨床検査の現場をはじめとする医療従事者の皆様とは、共通する意識もあろうかと考えております。

本講演では、当社が長年培ってきた「安全・安心・安定」の意識や、それをどのように次世代につないでいくかについて、以下の4つの視点からお話しさせていただきます。

1) 安全管理体制・安全への設備投資

当社の安全管理に関する考え方や組織ごとの役割分担など、安全管理体制についてご紹介します。また、近年の安全投資についてご紹介します。

2) 安全を守るための教育

多くの係員が同じ安全意識を共有するため、さまざまな教育が行われています。また、安全を守るための取り組み「指差・確認・称呼」についてもご紹介します。

3) 鉄道を支える「人財」の育成

鉄道事業は「人財」の力によって支えられていますが、持続的な「安全・安心・安定」輸送の遂行には係員一人ひとりが生き生きと働き、その能力を發揮できる環境づくりが大切です。健康管理や能力開発、職場環境整備などを通じ、人財育成と定着の両面から企業基盤を強化する取り組みをご紹介します。

4) 2040年のありたい姿

当社グループは、2040年のありたい姿を『「地域」を創る、「社会」を支える、そして「まち」を彩る～リーディングカンパニー～』と定めています。ありたい姿に向けた中長期経営戦略として推進している地域価値の向上に向けた取り組みをご紹介します。

異業種である鉄道の視点が、皆様の日々の業務や組織運営における参考となれば幸いです。